

令和8年度 下都賀地区ふれあい学習推進会議テーマ

「子どもの『結果としての居場所』づくり ～“居心地のよさ”を形にした社会教育からのアプローチ～」

令和8年度下都賀地区ふれあい学習推進会議では、各市町の生涯学習主管課及び公民館職員、県立学校職員、地域で子どもや若者支援に尽力している15名のふれあい学習推進委員の皆様とともに、各市町において具体的な「こどもの居場所づくり」の実践に取り組んでいきます。

令和8年度 下都賀地区ふれあい学習推進委員



栃木市栃木公民館
上原 尚之 委員

下野市生涯学習文化課
猪瀬 貴之 委員

栃木県立栃木特別支援学校 栃木県立とちぎ学びの夢学園
栗田 朋和 委員

とちぎ市民活動推進センターくらら
大波 龍郷 委員

下野市石橋公民館
豊田 直子 委員

山口 健一 委員

NPO法人 青二才
鈴木 祐磨 委員

野木小放課後子ども教室
知久 泰子 委員

壬生町生涯学習課
町田 直美 委員

壬生町壬生中央公民館
飯島 弘晃 委員

野木町生涯学習課
河原 千枝 委員

小山市生涯学習文化課
入江 伸 委員

小山市豊田公民館
竹澤 由佳 委員

小山市こども政策課
田中 秀和 委員

栃木市生涯学習課
大類 竜矢 委員

地域をつなぐふれあい学習 ～ 各市町の取組 ～

「ごちゃまぜの世界」の
実現において

壬生町



第35期壬生町社会教育委員の会議による意見書の中で、社会教育の枠を越えて誰もが学び続けられる「ごちゃまぜの世界」の実現に向けた提案がなされました。それを受けて誕生した講座が、「ハートふ。る。る共生シリーズ」です。社会福祉協議会と教育委員会が連携し、ケーキづくり、ミニ運動会、クリスマスツリーづくりの三つの講座を企画し、主旨に賛同してくださった壬生町にゆかりのある方に講師を依頼しました。

最初は硬い表情だった参加者も活動を通して自然と会話が生まれ、徐々に笑顔が増えていきました。延べ89名の参加があり、子どもも大人も、障害の有無にかかわらず安心して参加できる講座となりました。伸びしろたっぷりのこの講座を参加者とともに大切に育てていきたいと思ひます。

ふれあい学習で広がる
地域とのつながり

栃木市



栃木市では、「とちぎ未来アシストネット事業」の一環として、地域の力を生かした体験活動や交流活動を通して、子どもたちの豊かな学びと地域とのつながりを育む「ふれあい学習」を推進しています。栃木市内の小学校では、地域の方の協力を得ながら、小学校2年生を対象に「さつまいもの苗植え体験」を実施しました。当日は、地域の方から苗の植え方や育て方について教わりながら、子どもたちが一本一本丁寧に苗を植えました。初めて苗植えを体験する児童も多く、土の感触を楽しみながら、友達と協力して活動に取り組む姿が見られました。また、地域の方とのふれあいを通して、子どもたちは農作業の大変さや食べ物を育てる喜びについて学ぶ貴重な機会となりました。今後は、水やりや観察活動を続けながら、収穫の日を楽しみに育てていきます。

高校生の学び、活動の拠点を目標して 「小山市立生涯学習センターえる OYAMA」

小山市



小山市立生涯学習センターえるOYAMAは、高校生の学びと活動の新たな拠点を目標し、様々な取組を進めています。その一つが「おやま高校生まちづくりプロジェクト」です。小山市に縁のある高校生が学校の垣根を越え、地域と協働し、未来を創造する企画や実践に挑戦しています。また、今年2月に開設された「おやまユースセンター『みかん』」は、高校生が学校や塾、家庭とは異なる「第3の居場所」として、自由にくつろぎ、仲間との新たな挑戦を可能にする活動拠点です。

小山市は、これらの事業を通じ、小山市立生涯学習センターえるOYAMAを起点に高校生が多様な活動を展開し、安心できる居場所を提供することを目指しています。

「ふれあい学習」は、子どもを核とした幅広い年代の人々との交流活動や体験活動、学習活動を指します。ふれあい学習を通して、学校・家庭・地域が連携・協働し、子どもの「生きる力」を育むとともに、家庭と地域の教育力の向上を目指します。

